

2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	ユーザー・オリエンティド・デザイン小委員会	主 査 名：石橋 達勇 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名：清家 剛 主 査 名：日色 真帆
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2024 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>ノーマライゼーションの伸展に加え、近年は外国人居住者の増加や LGBT 当事者が社会的に話題になるなど、わが国は多様な人々が共生する社会となっている。しかし、このような人々による具体的な各種建築空間における行為の実施や場面における具体的な要件の知見の蓄積は、未だ不十分と考える。本小委員会では、上記の多様な特性を持つユーザーによる動作レベルの細かい動きではない行為や場面と建築・設備との関わりを諸施設事例から収集し整理体系化を図ることで、改めて両者の根源的な関係性を検討することを目的とする。</p> <p>初年度：委員が作業班に分かれて障害者・高齢者・子ども・患者・社会的弱者の諸行為の理解とそれに対応する建築空間・設備事例の情報収集・整理を行い、小委員会にて共有し、その結果を踏まえて作業班毎に公開研究会を企画・実施する。なお、公開研究会はビデオ通話システムを利用して、2 回程度行う。</p> <p>2 年度：前年度の成果を踏まえ、担当委員が中心となり公開研究会を 2 回程度実施する。また随時、各作業班での作業の継続と共に小委員会内での情報の整理・共有化も行う。そして上記情報の蓄積の進捗情報を踏まえ、成果として書籍刊行の可能性の検討も行う。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>主査：石橋達勇 (北海学園大学)</p> <p>幹事：田中賢 (日本大学)、室崎千重 (奈良女子大学)</p> <p>委員：植田瑞昌 (日本女子大学)、加藤悠介 (金城学院大学)、小菅瑠香 (芝浦工業大学)、鈴木義弘 (大分大学)、仲綾子 (東洋大学)、西岡基夫 (大阪公立大学)、西野亜希子 (コ・ラボ)、平井百香 (東北大学)、藤井里咲 (東京電機大学)、松田雄二 (東京大学)、松原茂樹 (大阪大学)、柳瀬亮太 (信州大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2022 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<p>1. 新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えたために勉強会兼見学会 (2 回) の企画および実施が年度末に漸く実現できた</p> <p>2. 関係各位からの協力を得て、委員会をビデオ通話システムや電子メールを用いて行っていることも一定の活動実績として認識</p>
委員会活動の問題点 ・課題	新型コロナウイルス感染症の収束後も、経費縮減のためビデオ通話システム等を活用した遠隔での委員会/催し物開催を行う必要がある